

2022
10・24 月4回
月曜日発行
第1267号

週刊ビル経営

発行所 株式会社ビル経営研究所
〒104-0061
東京都中央区銀座7-17-12 2F
TEL 03(3543)7421
FAX 03(3543)5839
発行人 垂澤清三
年間購読料 30,000円(税込)
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
亀岡大郎取材班グループ

ソコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所
代表取締役 出村 亜希子
奈良女子大学大学院修了後CM
会社を経て現職。一級建築士、
宅建士。「倉庫ドクター」とし
て建築面からオーナー支援に取
り組む。

の打合せに合わせた試行錯誤が増えたことや、深く、現代に通ずる先進性を実感しました。フリーアプルウエは、自らが進んだ建築家でも家具デザイナーでもなく、「構築家(Factory man)」と名乗り、空間も変な機能を「家具をつくることと家を作ることに違いはない」と言います。そのような言葉に思わず膝を打ちました。家具フレキシ

これまで手掛けてきた倉庫リノベーションを振り返ると、オリジナル家具を製作した事例が多いことに気づきました。

家具の巨匠に学ぼうと、先日「ジャン・プル

家具の占めるボリュームは小さくありません。アクセントとして空間のオリジナリティーを演出できたり、空間に合わせてサイズ調整ができたり、家具製作によるメリットは色々あります。

第53回「家具と建築」

「ジャン・プルウエ展―椅子から建築まで―」を見に東京都現代美術館へ。会期終了間際にすべり込みました。ジャン・プルウエは、工業化が進む20世紀に活躍したフランスの建築家、デザイナーです。名作のスタンダードチェアやプレファブ住宅など、無駄がなくシンプルに洗練されたデザインに圧倒的な存在感があります。制作家具は販売するだけでなく、リースや買い取りといった変化に対応できる多様な流通形態で、サーキュラーエコノミー(循環型経済)を実践していきます。

私たちが今、この製作家具に注目し「家具リノベーション」に取り組んでいます。現代は変化の時代。組織や運用の変化が早くなり、一度組み合わせが自由な建築部材は、解体や再組み立ても可能です。経済性、合理性、拡張性を備え、多くの人々に健やかな暮らしを提

供したことの意義深さに、大きなヒントを与えてくれました。